



## ニーズ把握を踏まえた事業化の方法 ～空白地域における日本語教育を中心に～

株式会社link design lab 代表取締役／一般社団法人ViVarsity（ビバーシティ）代表理事  
長尾 晴香



### 自己紹介

- 多文化共生マネージャー修了  
（一般財団法人自治体国際化協会・全国市町村国際文化研修所）
- 多文化社会コーディネーター認定  
（一般社団法人多文化社会専門職機構）
- 愛知県地域日本語教育コーディネーター
- 文化庁「地域日本語教育スタートアッププログラム」  
アドバイザー  
静岡県長泉町（2年目）  
岩手県陸前高田市（1年目）

## 本日の内容

---

# ニーズ把握を踏まえた事業化の方法 ～空白地域における日本語教育を中心に～

## 1 ニーズとは何か

## 2 事業化のプロセス

3

### ニーズ把握のための調査、分析の視点

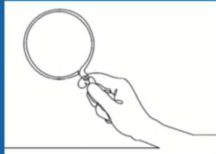
#### ◆令和4年度空白地域解消推進セミナー

[https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo\\_nihongo/kyoiku/kuhakuchi/iki\\_kyogikai/r04\\_hokoku/index.html](https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/kuhakuchi/iki_kyogikai/r04_hokoku/index.html)

資料4

### 日本語教室の開設に向けた ニーズ把握に関する情報提供

文化庁「地域日本語教育スタートアッププログラム」アドバイザー  
専門社会調査士・国家資格キャリアコンサルタント  
群馬大学 結城 恵  
yuki@gunma-u.ac.jp



# 1. ニーズとは

## ニーズとは何か

- ・ ニーズの要素：Hutchinson and Waters（1987）

### Necessities：不可欠な要素

対象者（学習者）が、効果的な言語使用を実現するために必要とする／されること（もの）

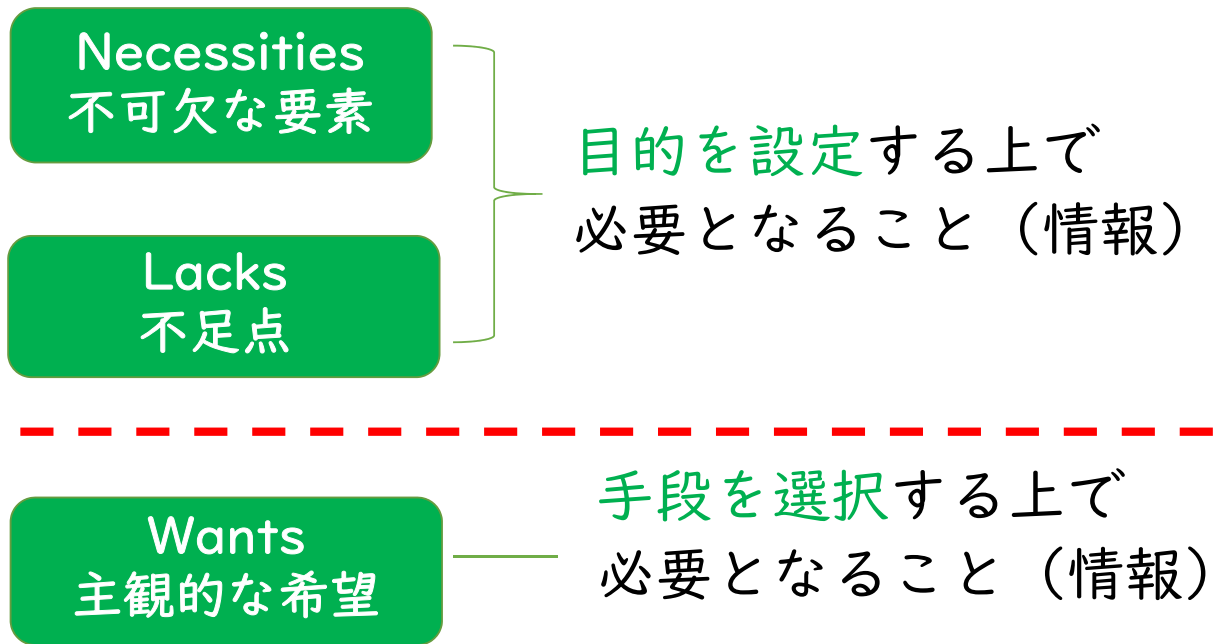
### Lacks：不足点

Necessitiesと対象者（学習者）の状況を照らして不足していること（もの）、ギャップ（差）。

### Wants：主観的な希望

対象者（学習者）が主観的に希望すること（もの）

## 目的と手段の選定



## 目的と手段の選定（事例）

**Necessities**  
不可欠な要素

- 喉を潤す必要がある

不足している情報はないか？

**Wants**  
主観的な希望

- コーラが飲みたい

清涼感がある + 必要な栄養素を取る

➡ スポーツドリンク

## 目的と手段の選定



## 2. 事業化へのプロセス

## プロセス① 現状の把握

現状

= 現在位置、地図



- ・ 外国人住民の現状把握  
(人数、国籍、在留資格)
- ・ なぜ定住しているのか？  
(本人の希望、企業の事情)
- ・ どのくらい定住する予定？  
(住宅、子ども、介護)
- ・ どんな困りごと？どんな場面？

アンケート

- ・ 数を集める
- ・ 傾向を見る
- ・ 背景がわからない



ポイント

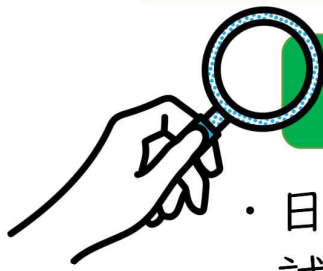
- ・ 仮説をデータから見える化させる
- ・ 今後の事業の土台

ヒアリング

- ・ 具体的なエピソード
- ・ 背景を理解できる
- ・ 時間がかかる



## プロセス② 要素の整理



Necessities  
不可欠な要素

Wants  
主観的な希望

- ・ 日本語を話せるようになりい
- ・ 試験のための勉強がしたい
- ・ 漢字を勉強したい



ポイント

- ・ なぜ？何のために？を深堀る
- ・ 当事者も把握していない可能性

Lacks  
不足点

## プロセス② 要素の整理

目的・目標

Wants  
主観的な希望



Necessities  
不可欠な要素

Lacks  
不足点

現状

## プロセス② 要素の整理

### ●地域としての課題から分析

- ・ 全てに対応する必要はない
- ・ 担当課だけで解決しようとするしない

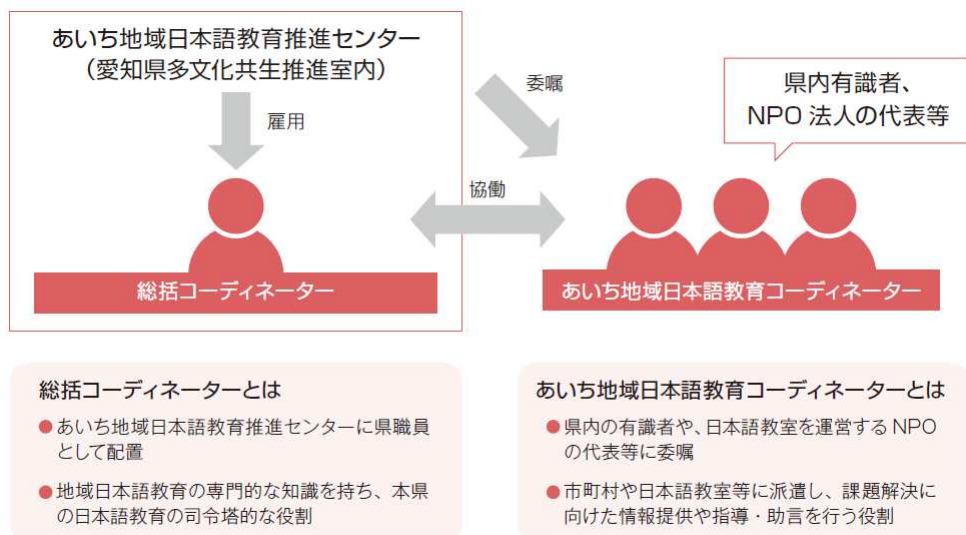
### ●目の前の外国人の意見が全てではない

- ・ 拾えていない声がある事実

## プロセス② 要素の整理

### ◆愛知県における地域日本語教育の推進体制

- ・ コーディネーター派遣事業



## プロセス③ 誰のためを決める

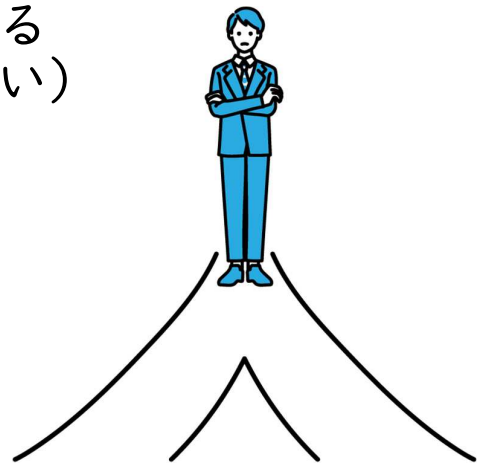
### ペルソナ

マーケティングや商品開発における、「ターゲット設定」

- ・ **具体的なイメージ**を掘り下げる  
(それ以外を排除する訳ではない)
- ・ 目標設定は合っているか？
- ・ Wantsにも対応しているか？



関心、継続性を上げる



## プロセス④ 立ち返る軸の検証

実際に教室をスタートすると...

- ・ 文法を教えてほしい／教えたい
- ・ 試験のための勉強がしたい
- ・ 漢字を勉強したい



- ・ なぜ？その背景は？
- ・ 教室の目的、届けたい相手は？



Wants  
主観的な希望

Necessities  
不可欠な要素

目的・目標

永住者

「**文法**を教えてほしい」

なぜ？



「**子どもの病院の手続き**ができないので  
文法を教えてほしい」

→ **情報（多言語ツール）** を知らない  
**つながり**の不足

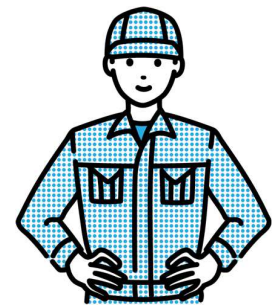
「**試験**の勉強がしたい」

なぜ？

「**会社の人**が**何を言っているか理解**  
**できない**から、試験の勉強したい」

→ **方言**がわからない  
わからない時の**聞き方**

技能実習生



## プロセス④ 立ち返る軸の検証

### 長泉町が目指す日本語教室

地域の資源を生かしながら、**日常生活についての**  
**情報交換や共有**、また**地域の行事などの交流**を通して、  
日本語を習得できる教室をつくる。

### 町として大切にしたいこと

外国人住民のニーズを把握し、**困りごと・悩みごと**  
**に寄り添う**ことで、外国人住民にとっても住みやす  
いまちを目指す。

## 目的と手段の選定

---



## まとめ

---

- 要素の整理、深掘りする視点  
(事業の軸を見つける)
- 常に問い続ける姿勢
- 明確な目的 → 協力関係を築きやすい